

■目的

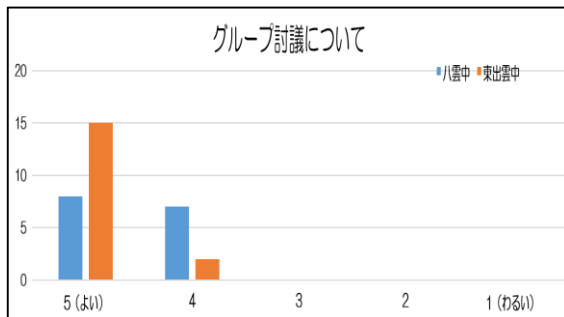
子どもたちのメディアとの関わり方「メディアルール」を、「子どもたち自身」が話し合って決め、振り返り、見直していくことで、主体的で効果的なものとする。

■昨年度の取組み

- ・ 松江市では令和4年度に初実施
- ・ 八雲中学校・東出雲中学校の生徒会役員（計34名）+教員+青少協+鳥大生
- ・ R4年8月21日（日）@東出雲公民館（※青少協の取組みとして実施）
- ・ テーマ「電子メディアの使い方を考えよう」
 - ①グループ協議
 - ②スローガンづくり
 - ③全体共有

写真1

写真2



- ・ 各グループでそれぞれの課題や対策などを考え、発表しあうことで、自分たちには無かった意見が他校の人たちと一緒に考えることでうまれた。
- ・ 他の班の意見やスローガンを聞いたので参考になった。
- ・ 同じメディアに関することでも時間やトラブル、情報など様々なジャンルの課題が見つかった。これらをどう解決していくかが難しかった。

■今後の方向性

- ・ 持続可能、市内での横展開（他中学校・小学校）が可能なスキームを検討する。
- ・ 今年度（R5年度）・来年度（R6年度）にいくつかのパターンを試し、実施方法を検討する。
- ・ R5年度：中学校1校の生徒会中心の実施（+市教委フォロー）を試行
※本年度は外部リソースを最小限にし、持続可能な方法を試行する。
- ・ 課題：大学生や高校生が関わってくれることは効果が大きいですが、学校側に調整の負担が生じる。自主的・持続可能な方法を要検討。

■（案）R5年度：湖東中学校 生徒会での実施

- ・ 3学期から新生徒会（2年生中心）が発足。
- ・ 新生徒会中心に湖東中でスマホサミット（ワークショップ）を開催し、成果を校内に展開（共有）する方法まで検討する。
- ・ 「メディアの使い方を考えよう」をテーマにワークショップを開催。
- ・ 参加した生徒会メンバーだけでなく、その後、どのように校内で共有し、実践していくかまで自分たちで考え、実践プランまで考える。